

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 34 | 職員全員が救急救命講習を受講し、また、社内勉強会で救急時の備えはしているが、実際の場面での実践力には大きな個人差があり、夜間等の職員の少ない時間帯の対応に不安がある。 | 職員全員の救急時対応の実践力を高め、いついかなる時でも迅速・適切な対応ができるようにする。 | 救急救命講習の定期的受講を継続していく。社内勉強会も定期的に行い、内容はロールプレイング形式にして、より実践力を高められるようにする。 | 6か月 |
| 2 | 48 | ADLが低い状態の利用者や趣味・嗜好等が把握しにくい利用者に対して、楽しみごと、気分転換等の支援が不足している。 | 利用者がそれぞれに合った役割や楽しみごと、気分転換等ができ、はり合いや喜びを持ち、日々を過ごせる環境をつくる。 | 利用者のニーズが把握できるようにコミュニケーションの機会を更に増やし、職員間での情報提供、共有に努める。ニーズ把握が難しい場合はこちらから様々な提案やアプローチを行い、反応を観察して潜在的なニーズを捉え、日々の生活に反映させていく。 | 6か月 |
| 3 | | | | | か月 |
| 4 | | | | | か月 |
| 5 | | | | | か月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。